

## 今でも忘れられないギャンブル

E. F. (30代男性、GAメンバー)

私は、5人兄妹の末っ子として生を受け、小学校の時から変わり者で毎日遅刻して迷惑を掛けても気づかず、先生にたんこぶが出来るほど、げんこつをされた記憶があります。中学生になってからは実家の自営業の経済状況が悪化しました。色々な事を我慢して反抗期を迎えることなく優等生でいましたが、実際はいじられキャラと自分に言い聞かせていましたが、今思うと一部からはイジメの対象になっていました。高校までは行けたものの「就職しなさい。大学・専門学校に行かせるお金はない」と親に言われ、地元の工業高校に入学しましたが同じ部活の中でイジメの対象になって、後輩からも同じ様なことをされていました。そこから、公務員の試験に合格してからも人間関係がうまくいかず何度も苦しい思いをしながら、彼女ができましたが、それに依存して振られた後の23歳からギャンブルに依存して生きていました。現在はそれなりに昇任しましたが、また人間関係がうまくいかず、ギャンブルに依存して、当時26歳で結婚してからも根深いギャンブルを忘れられず、嘘をついてギャンブルを続ける生活を続けました。勿論お金は、残っている訳もなくカードローンでギャンブルを続けついに妻に気付かれてしまい、泣きながら「もう二度としません」を繰り返し、実際その時は1年間やめることが出来ました。ですが、実際にやめていたかと言うとそうではなく、携帯ゲームに依存を転換して月に多い時で8万円使用するといった、ただ違うものに依存していました。その後また、ギャンブルを隠れて再開、また、妻に注意され職場に告発されてしまい、職場の上司に初めてギャンブルで借金があることを相談しました。その後29歳で病院でギャンブル依存症と診断されました。それから「GAのグループミーティングに行く」と治療につながる」と太田先生から言われ、妻の事を考え行くことにしましたが、1回の参加後自分には合わないと思って行きませんでした。そこからスリッパを繰り返し、今度は自分の意思でGAのグループミーティングに参加しました。そこからは、継続して今もミーティングに参加して、今は司会をさせて頂いています。今まで言ってきた内容にみなさん気付いたかもしれませんが、ミーティングに自分から参加しようと思うまで、私はずっと今までの環境が悪いと考えて、いつも自分のことを人ごとの様にして責任を回避していました。仲間のメッセージを受け取ってからは、自分で回復しなければ意味がないと気づき、回復に関する事は自分から行動できるようになりました。でも、現在に至ってもギャンブルを忘れることはできません。忘れてはいけないのは、私は依存なしには生きていけません。今後については、GAに依存して仲間とともにあせらず少しずつ一生かけて回復していきたいと思えます。